

平成28年度町政執行方針



小林町長は、平成28年第1回町議会定例会開催にあたり、平成28年度の町政執行方針を述べました。その概要を掲載します。

○安全・安心で活力あるまちづくり

・組織機構の見直し
多様化する町民ニーズに迅速かつ的確に対応できる行政運営の推進を目的に、横断的な総合調整機能を有する「町長公室」の新設や、高齢者福祉の取組強化を図るため「長寿福祉課」の新設など、組織機構の大幅な見直しを行い、魅力あるまちづくりを目指す。

・健全財政の維持

社会情勢の変化により、町の財政状況は厳しさを増すことが予想されます。滞納の発生防止と滞納処分などによる徴収率の向上を図り、自主財源の確保と税負担の公平化に努めると共に、行財政改革などを通じて健全財政を維持しながら、質の高い行政サービスを持続的に提供できるよう努力していきます。

・茨城町まち・ひと・しごと創生総合戦略

本戦略では、人口減少の克服や地域課題の解決に向けて活力ある茨城町であり続けるための基本目標や施策が定められています。今後は本戦略に基づき、

人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある茨城町を維持していくため、全力で取り組んでいきます。

・地域おこし協力隊・集落支援員

地域おこし協力隊は、5名の隊員が内外への情報発信や、地域事業への参画を行い、地域力の向上を図りつつ、定住に向け地域に密着した活動を積極的に展開しつつあります。集落支援員についても、昨年実施した集落アンケートに基づき、地域の特色をいかした取り組みの提案を行っており、その活動内容の充実化を図ります。

・町の情報発信

広報・広聴機能の充実と町民生活の利便性向上のため、今年2月に町のホームページをリニューアルしました。今後は、新ホームページをいかし、情報の質と迅速性を高め、利用しやすいものにしていきます。

○健やかな心身と思いやりを育む 安心のまちづくり

・健康づくりへの取り組み

「第2次茨城町健康増進計画・食育推進計画」を基盤とし、乳幼児期から高齢期までの、各ライフステージにおける健康づくりを推進していきます。

・いきいき健康づくり推進事業

地区訪問活動において、認知症予防、介護予防に取組むとともに、新たに歯周病予防教室を取り入れるなど、内容の充実を図っていきます。

・不妊治療費助成事業

1回あたりの助成額を増額し経済的負担の軽減を図るとともに、妊娠・子育て世代を対象とした「ハッ

ピー子育てメール」の配信や、精神的に不安定な妊産婦に対する支援の充実など、出産・育児をサポートする対策を推進していきます。

・予防接種事業

乳幼児期において罹患率の高いロタウイルス胃腸炎の予防接種に対する一部助成を新たに実施し、感染症予防に努めます。

・健康診査事業

胃がん検診について、これまでの集団検診に、医療機関で行う検診を加え、利便性を高めます。また、がん検診や骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検査について、引き続き節目の年齢の方に無料クーポンを配布し、受診率の向上を図り、疾病の早期発見・早期治療につなげていきます。

・福祉施策

高齢者福祉タクシー事業や単位老人クラブに対する補助制度により、高齢者の外出促進とともに地域交流の活性化を促進します。また、緊急通報システムや愛の定期便事業により、一人暮らし高齢者の安心・安全を確保するなど高齢者福祉の増進に努めます。

・少子化対策

婚活応援推進事業を進めるとともに子どもの各成長段階における各種子育て支援施策を充実し、子育てしやすい町づくりに努めます。

○充実した教育と 安心コミュニティのまちづくり

・学校教育関係

児童生徒の学力向上を図るため、個々の能力に応じたきめ細かな授業を行う「学習指導支援講師配置

事業」の実施や、障害のある児童生徒に対する介助や学習支援を行う「特別支援教育支援員」の配置を行っていきます。

また、町内全ての小中学校に、タブレット端末、電子黒板などを整備するとともに、教職員のための校務支援システムを導入し、先進的かつ充実した情報通信技術環境の整備を推進していきます。

・学校施設の整備

平成26年度から進めてきた石崎小学校、広浦小学校、長岡第二小学校の統合が完了し、本年4月に菟小学校として開校します。

○豊かさを実感できる活力ある まちづくり

・ラムサール条約湿地潤沼

「潤沼」の保全・再生、賢明な利用、交流・学習を推進し、観光・地域振興を図るため、茨城町、鉾田市、大洗町と関係団体等で組織する「ラムサール条約登録地ひぬまの会」を設立しました。今後は、3市町、各団体、企業等が一体となって、潤沼の魅力を発信し、地域の活性化、観光振興、環境保全等を図ります。



・農業の振興と産業の活性化

農業活性化対策の一環として、「こだわり農業」の

推進、「茨城町の安全・安心な農畜水産物」のPR等に取り組むほか、「ひろうら田舎暮らし体験推進協議会」を設立し、農家民泊や体験型農園事業を実施してきました。本年度は、交流事業を町内全域に広められるよう推進します。

・国営緊急農地再編整備事業「茨城中部地区」

平成28年度予算の概算決定（閣議決定）において、平成28年度事業着工が認められ、現在土地改良法に基づいた手続きを行っています。今後、本同意の徴集、施行申請等早期着工に向け推進していきます。

・茨城町農業公社

担い手農家への農地の集積・斡旋、WCS事業の推進、畜産堆肥の農地への還元など、農家の下支えを行っていきます。また、他県から移住した新規就農者への支援を引き続き行うとともに、新たな就農者の誘致にも努めます。

・企業誘致

昨年、茨城工業団地に新たに2社が進出し、町内2つの工業団地に立地する企業は合計で17社となりました。今後は、茨城中央工業団地を中心に誘致活動を積極的に進めていきます。

・消費者行政

相談体制の充実強化を図りつつ出前講座などの啓発活動を通して、町民の安全・安心な消費生活を支援していきます。

○安全で快適な生活環境整備を目指す まちづくり

・防災

災害に備え、避難所となる小中学校への防災倉庫の設置や災害時用備蓄品の整備を行い、防災体制の

強化を図ります。

また、防災行政無線について、デジタル化更新に向けた調査・研究を進めていきます。

・潤沼の水質改善

生活排水対策を積極的に推進していきます。併せて不法投棄に対するパトロールも強化します。

・交通安全対策

警察や関係団体と連携し、交通ルールの啓発活動や交通安全施設の整備を行い、交通事故防止に取り組んでいきます。また、地域の安全安心を守るため、通学路を中心に防犯灯などの施設整備を進め、適切な維持管理に努めます。

・ごみ処理の広域化

霞台厚生施設組合において、一般廃棄物処理施設整備基本計画が策定されました。今後、関係市町村（石岡市、かすみがうら市、小美玉市）と連携しながら、計画が着実に進められるよう努めます。また、ごみの減量化とリサイクルを推進し、資源・エネルギーを無駄にしない「循環型地域社会」の構築を目指していきます。

・インフラ整備

引き続き幹線国・県道について要望を行うとともに、町道につきましても、町道109・120・202号線を重点に整備促進を図っていきます。上下水道についても3か年実施計画に沿って整備を進めていきます。

・消防

町民の生命・財産を災害等から守るため、消防施設及び車両・資機材等の各種整備を充実し、機動力の増進を図りながら高度な防災体制の構築に努めます。